

パフォーマンス・サマリ

- > ファイル取得にかかる時間を100分の1以下に短縮し、分単位ではなく秒単位で完了
- > 帯域幅使用率を95%以上削減(オペレーションによる。修正コンテンツの場合は95%、静的コンテンツの場合は99%)
- > MACH5テクノロジーにより、すべてのOffice SharePoint Server 2007オペレーション(トレーニング・ビデオや録音アナウンスの取得を含む)をセキュアに加速化
- > MACH5テクノロジーにより、HTTPS/SSLによって暗号化されている場合でも、使用されるプロトコルに関係なく、Office SharePoint Server 2007オペレーションを加速化

テスト・シナリオ

これらのテストは、Windows 2003 ServerにインストールされたOffice SharePoint Server 2007と、XP SP2がインストールされたクライアントを使用して実施されました。テストは、遅延が100msの1.544Mbpsの(T1) WANリンクをシミュレートして行われました。

- > コールド・テストは、トラフィックがまったくブルーコートのアプライアンスを通過していない状態で開始しています。
- > ウォーム・テストは、同一または類似したトラフィックがすでに一度ブルーコートのアプライアンスを通過している状態で開始しています。

ブルーコートのアプライアンスによる Office SharePoint Server 2007 の加速化と最適化

IT 組織は、分散型企業の世界各国のユーザーが効率的に協力して生産性を維持できるようにしながら、同時に重要なドキュメントやファイルを中央から管理できるようにする必要があります。顧客とパートナーの情報を企業のワークフローとプロセスに統合するのはさらに困難なことであり、組織外のユーザーにアクセス権を付与する必要が生じます。Office SharePoint Server 2007はこのようなタスクをサポートしますが、WAN リンクが低速だったり、パフォーマンスが悪かったりすると、そのソフトウェアやプロセスはユーザーに採用されません。ブルーコートは、パフォーマンスを維持し、帯域幅使用率を削減して、さらには SharePoint Server 2007 オペレーションにかかる時間を大幅に短縮できる、MACH5 テクノロジーをベースとしたエンド・ツー・エンドのソリューションを提供します。このソリューションは、情報またはコンテンツの管理、コラボレーションやワークフロー、または提案中の顧客およびパートナー情報の統合などに役立ちます。

WAN 上での Microsoft SharePoint Server の使用

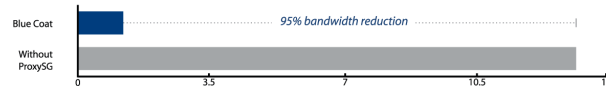
Microsoft Office SharePoint Server 2007 (Office SharePoint Server 2007 または Team Server と呼ばれる) は、ユーザーがコンテンツ、プロセス、およびビジネス・データを簡単にやり取りできる一貫性のあるインターフェイスを提供します。ドキュメントのレビューと承認、問題の追跡、署名集めなど毎日行うビジネス活動が、よく使用するクライアント・アプリケーション、電子メール、および Web ブラウザにしっかり統合されます。

しかし、リモート・ユーザーにとって、狭い帯域幅や高い遅延が発生する WAN 上のこれらのタスクは、深刻なパフォーマンス低下を起こすため、ビジネス・プロセスの導入が遅れます。Office SharePoint Server 2007 を使用したケースは多数ありますが、一般的に、レビュー用のドキュメントの登録や共有ファイルの登録などに使用されています。たとえば、リモートの Office SharePoint Server 2007 に保存されている 6MB のファイルを開く場合、6MB のファイル全体をダウンロードする必要があるため、数秒どころか数分かかることがあります。ファイルを修正したり、ファイルへコメントを追加したりする場合も、そのほとんどの部分が変更されていても 6MB のファイル全体を転送する必要があるため、ファイルの保存には同じくらい時間がかかります。

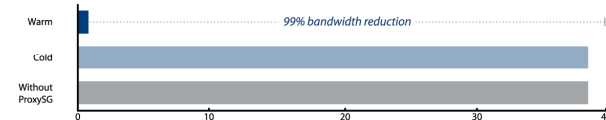
パフォーマンス・テストの結果

Office SharePoint Server のファイル編集機能を使用して 6MB の MS Word ドキュメントを開いて編集し、さらに保存するというテストにおいて、Blue Coat ProxySG アプライアンスは帯域幅使用率を 95%削減しました。39MB のトレーニング・ビデオを取得するもう 1 つのテストにおいて、Blue Coat ProxySG アプライアンスは、ファイルの取得にかかる時間を 100 分の 1 以下に短縮し、帯域幅使用率を 99%以上削減しました。

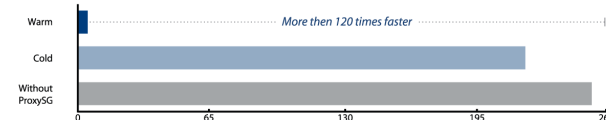
"Edit and Save" of a 6MB MS Word file over a 1.544 Mbps (T1) WAN with 100ms latency:
Bandwidth Used: (without=13.3 MB, with=0.85MB, 95% reduction)



39 MB training video download, 1.544 Mbps (T1) WAN with 100ms latency:
Bandwidth used: (without=39 MB, Cold=39 MB, Warm=0.072 MB)



Time Taken: (without=251 secs, Cold=230 secs, Warm=2 sec)



ブルーコートのアプライアンスによる Office SharePoint Server 2007 の加速化と最適化の実現方法

ブルーコートの MACH5 テクノロジーによるアプリケーション配信ネットワークは、Office SharePoint Server 2007 のすべてのオペレーションとタスクを改善し加速化します。オブジェクト・キャッシング、バイト・キャッシング、および圧縮テクノロジーにより、SharePoint ユーザーは数分どころか数秒でコンテンツにアクセスしてタスクを完了できるようになり、帯域幅使用率も最大 99%削減されます。

プロトコル最適化と組み合わせた場合、他のいずれの方法よりアプリケーション・サーバーの負荷を軽減し、LAN 環境に近い操作性をユーザーに提供します。これでユーザーは、大きなファイルの取得やファイルの編集・修正など、すべての SharePoint タスクおよびオペレーションを WAN 上で数秒のうちに完了できるようになります。さらに、ブルーコートのソリューションは、帯域幅管理/QoS 機能も適用できることから、あらゆるクラスのトラフィックに適切な優先順位を割り当てられるようになります。

Blue Coat アプライアンスの利点

ユーザーの生産性の向上

プロトコル最適化、オブジェクト・キャッシング、およびバイト・キャッシングにより、すべてのSharePointオペレーションにかかる時間を大幅に短縮できます。

帯域幅使用率の削減

オブジェクト・キャッシング、バイト・キャッシング、および圧縮により、WAN上のトラフィック量を大幅に削減できます。

サーバー使用率の削減

オブジェクト・キャッシングおよびプロトコル最適化により、サーバーの負荷を軽減し、拡張性と費用対効果を向上できます。

セキュアかつシンプルな導入

Office SharePoint Serverの認証機能を無効にしても、ITインフラストラクチャへセキュアに統合できます。

QoS および帯域幅管理

ブルーコートのアプライアンスを導入することで、他のビジネス・クリティカルなトラフィックに対して、SharePoint Serverトラフィックの優先順位を的確に割り当てながら、帯域幅使用率を管理できるようになります。

ブルーコート MACH5 加速化テクノロジーについて

MACH5 テクノロジーは、5つの異なるアプリケーション管理テクノロジーやチューニング・テクノロジーを組み合わせて、アプリケーションのパフォーマンスと帯域幅使用率を大幅に向上させることを目的とした、特許出願中の技術です。ネットワークのエッジであっても中心であっても、MACH5 テクノロジーを導入すれば、アプリケーション配信におけるあらゆる課題に対処できる強力なツールキットとなります。以下のような機能が提供されます。

帯域幅管理

ポートやデバイスだけでなく、ユーザー、アプリケーション、およびコンテンツに基づいて優先順位とネットワーク・リソースを割り当て、企業ポリシーをより正確にネットワークに反映します。

単体で機能させても、インフラストラクチャ QoS と統合しても、パケット交換ネットワークにアプリケーション・インテリジェンスをもたらします。

プロトコル最適化

WAN 上の非効率なプロトコルのパフォーマンスを固有の機能強化によって改善し、WAN で一般的に発生する、より大きな遅延に耐えられるようにします。ブルーコートは 10 年以上にわたり、ネットワーク・プロトコルを最適化する製品や、TCP、CIFS、HTTP、HTTPS、MAPI をはじめとするほぼすべてのストリーミング・ビデオや IM のプロトコルに対するさまざまな改善策を提供し続けています。

バイト・キャッシング

バイト・ストリームで検出された反復トラフィックをキャッシュして、ローカルで処理し、実際に WAN を経由するトラフィックの量を削減します。ネットワーク・トラフィックに対してカスタマイズされた圧縮アルゴリズムのように機能して、帯域幅を大幅に節約します。

オブジェクト・キャッシング

ファイル、ビデオ、および Web コンテンツをローカルに格納し、従来の広域ファイル・サービスのオーバーヘッドやリスクなしに、LAN 環境に近いパフォーマンスを WAN ユーザーに提供します。コンテンツ配信について、回線の遅延と帯域幅を減らしてエンド・ユーザー体験を向上させるテクノロジーとしては、これを上回るものはありません。

圧縮

インライン圧縮では、初めてのアクセス先であっても、予測可能なパターンによってデータを縮小できます。これは、バイト・キャッシング技術を補完する理想的な機能です。

Blue Coat ProxyClient について

ブルーコートのセキュア Web ゲートウェイと加速化テクノロジーを備えた ProxyClient は、アプリケーション配信をデスクトップにまで拡張します。ProxyClient は、キャッシング、圧縮、プロトコル最適化を含む MACH5 テクノロジーを使用することで、ローミング・ユーザーや小規模の支店での Web アプリケーションおよびオフィス・アプリケーションを加速化します。ProxyClient は、インストール、設定、導入、および継続的な管理のための作業が単純かつ容易であり、ユーザーに LAN 環境に近い操作性とブルーコートの Web フィルタリングを提供します。

